



1年後も100年先も、大切な人とずっと。

17,000本の植樹には、あなたの協力が必要です。

桜 Sakura Line ライン 311*

「津波が来る前に、桜より上に逃げよう」

1年後か、100年後か。その時期はわからないけど、必ずやってくる“災害”
陸前高田にまた津波が押し寄せたとき、自分と、自分の大切な人を守れるように。
私たちは東日本大震災を伝え残すことを目的に、津波到達地点に桜を植えています。



市内の津波到達地点をラインにすると約170km。

10m間隔で桜を植えていくと、合計17,000本の桜並木になります。

今までに、累計1,789本(2021年1月末現在)の桜を到達地点に植樹してきました。

桜を植樹するために必要な資金のうち、集まっているのは32.7%(注1)。

桜並木をつくり、ずっと守っていくために。ご協力をお願いします。

注1：植樹する土地は復興関連工事と重なる部分も多く、復興後に初めて検討できる場所が多くあります。
植樹は20年での計画としており、年間予算4,000万円×20年で総事業費は概算8億円を予定しています。



● 協力者の声



小田 和正さま

いつの日かこの活動が人々に、忘れてはいけない大切な記憶とともに心からのやすらぎをもたらしてくれるはずです。みんなで一緒に応援して大きく広げて行きましょう。



国崎 信江さま

危機管理教育研究所

育てて愛でて伝える津波の教訓。暮らしのなかで住民とともに生き続ける桜を多くの人の手によって育てながら伝えていく。悲しみだけでなく美しさで心をつないでいくこの活動を私は応援します。



安田 菜津紀さま

フォトジャーナリスト

街の歩みを見つめる桜たち。それは今を生きる人々が記憶を託した、未来へ綴る手紙そのものでした。これからも応援させて下さい。次の世代もこの樹と共に、温かな春を迎えられるように。

活動実績

(2021年1月末現在)

	植樹本数	植樹箇所	参加 ボランティア人数
2011年秋	34	18	57
2012年	342	82	640
2013年	271	61	715
2014年	150	31	731
2015年	174	17	636
2016年	162	28	756
2017年	238	40	908
2018年	178	33	1020
2019年	217	34	878
2020年	89	20	260
合計(引取分を含む)	1789本(▲66)	351箇所(▲13)	のべ6576名

※市内の造成工事や地権者の方の事情による植樹後の苗木の引取りを実績へ反映したものととなります

沿革

2011年10月16日	任意団体 桜ライン311 設立
2011年11月6日	団体初の植樹会を開催
2012年5月1日	特定非営利活動法人 認証
2013年7月1日	岡本翔馬 代表就任
2014年5月1日	認定特定非営利活動法人 認定
2016年3月27日	累計植樹本数 1,000本を突破

役員



代表：岡本翔馬



副代表：中井勝義



副代表：伊勢友紀

認定特定非営利活動法人 桜ライン311

〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字大隅93-1 高田大隅つどいの丘商店街12号

TEL/FAX：0192-47-3399

E-MAIL：info@sakura-line311.org

WEB：http://www.sakura-line311.org